

2026 年度第 1 四半期決算説明会（2026 年 7 月 29 日開催）

QA 要旨

Q1. 1Q の実績について、ほぼ百億円近い製品売上が、サプライチェーン変更に伴う諸手続きなどにより、2Q にシフトしたとの説明がありましたが、サプライチェーンの変更とは、具体的に何を変更したのですか。また、このシフトした分は 2Q に売上が上がり、それ以降の需要の見通しには変化はありませんか。

A1. 今回のサプライチェーンの変更というのは、車載向けの一部製品について、生産能力の強化と供給体制の最適化を目的として、生産・出荷体制の一部見直しを実施しました。そのための諸手続きの調整等に時間を要したため、一部製品の出荷が 2Q にシフトすることになりました。今回のシフトは、年度を通じてお客様の需要のレベルに直接関係するものではありません。

Q2. サプライチェーンの変更に伴う追加的な費用が、今年度に発生することはないのでしょうか。

A2. 今回の変更は、生産体制の効率化や物流の最適化を図ったもので、追加的な費用の発生はありません。

Q3. 研究開発費について、1Q は 170 億円と大きく増加しました。これは、下期からの新規量産品のためのサンプル作成や先行開発のための開発費がこの 1Q に集中し、特別に研究開発費が多くなったのでしょうか。2Q 以降の研究開発費の水準をどのように見ればよいのでしょうか。

A3. 今年度は、下期に複数の新規量産品の立上げを予定しており、そのための評価サンプルの作成が増加しました。但し、新規量産品に関わるサンプルの費用は、NRE でカバーされますので、今年度は NRE も前年比で増加する見込みです。また、先端分野への積極的な開発投資は継続していきます。今年度の研究開発費は、2Q 以降も 1Q と同水準が続くと見込んでいます。

Q4. 先端分野への積極的な開発投資も継続していく方針との説明でしたが、チップレット技術や先端パッケージ技術への取り組みも強化していると思います。これらの先行開発投資は、具体的なお客様からの引合いや商談に基づいて進めているものなのでしょうか。それとも新規顧客開拓のための先行的な開発なのでしょうか。

A4. 先行開発には、お客様の商品開発に必要なものもありますが、その多くは当社の強みである「Entire Design」や「コンプリートサービス」を実現するための最先端テクノロジーへの開発に向けた先行投資です。

Q5. 営業利益率について、NRE 売上のタイミングにより、上期は当初想定より若干減少する可能性がある、との説明でしたが、どのような要因で NRE 売上が遅れるのでしょうか。

A5. NRE 売上のタイミングについては、特に開発面で遅れているということではなく、テープアウトの時期が若干でもずれると、1 件当たりの NRE 金額も最近は大きくなっているため、ブレる可能性があることを説明したものです。

Q6. 1Q の製品粗利率は約 35%となりましたが、前年同期比では悪化しています。今年度の 1Q は、比較的粗利率の低い車載向け製品の売上が 2Q にシフトしたにもかかわらず、全体の製品粗利率が低い水準になっています。前年度の 1Q から全体の製品粗利率が悪化した要因は何ですか。

A6. 前年度の 1Q と今年度の 1Q を比較すると、比較的製品粗利率の高い製品の割合が減少していることや、先端製品の増加によるレチクルの償却費の増加等により、前年同期比で全体の製品粗利率は悪化しました。

Q7. 前年度は、車載向け新規量産品の量産立上げ時に、原価改善の遅れ等の要因で全体の利益にも影響が出ましたが、今年度も下期から車載向けやデータセンター向けに新規量産品の立上げが予定されており、前年度と同様の問題はないのでしょうか。

A7. 新規量産品の立上げにおいては、まず歩留りの改善に一定の期間が必要で、更にテストコスト、その他の製造コスト等、初期立上げコストが発生し、その影響は今年度の計画にも織り込んでいます。前年度の車載向け新規量産品の量産立上げ時は、原価改善の遅れに加え、想定を上回る数量の増加もあり、想定以上の原価率悪化がありましたが、今年度はこれらの課題で得た経験、知見を活かし、量産の準備を進めています。

Q8. 下期に量産立上げを予定しているデータセンター向け CPU の製品について、商談獲得時点から、直近の顧客の需要見通しが大きく変化していないのでしょうか。需要見通しが大きく増えた場合、ファンドリーのキャパシティは確保できるのでしょうか。

A8. データセンター向け CPU の需要は堅調で、また拡大傾向にあると見ています。お客様の需要についても当初想定した数量より増えると考えています。先端プロセスのファンドリーの生産キャパシティについても、お客様と共同でキャパシティの確保に努めています。

Q9. 今年度の商談獲得について、進捗があれば教えてください。2nm プロセスの製品や先端のチップレット製品などの引合いはあるのでしょうか。

A9. 今年度の商談獲得の進捗については、まだ具体的にお話することはありませんが、内容的にはやはりデータセンター及びその周辺の案件の引合いが多いと見ています。

以上